

大衡村

(1) 概要

本村の公共下水道事業は、吉田川流域関連公共下水道として、昭和63年より下水道事業に着手し、平成4年に一部供用を開始しました。令和6年度末の下水道普及率は61.7%、整備面積は616.5haとなっています。合併浄化槽事業の普及率は30.3%で、村全体の水洗化人口の割合は、88.6%となっています。

(2) 生活排水処理普及率の推移

生活排水処理人口普及率：R6 91.4%

R17 95.8%

R27 95.8%

※市町村全体の汚水処理人口普及率と、各事業別の汚水処理人口普及率の合計値は、端数処理の関係上一致しない。

(3) アクションプラン達成のための各事業の取組

1) 下水道事業（流域）

令和27年度を整備完了としていますが、工業団地の造成に合わせて整備を進めていきます。

また、ストックマネジメント計画を策定し、ライフサイクルコストの最小化、予算の最適化の観点も踏まえ、予防保全型管理を行うとともに、長寿命化対策を含めた計画的な改築を推進します。

下水道処理人口普及率：R6 61.7%

R17 63.3%

R27 63.4%

2) 合併処理浄化槽整備事業

本村では、市町村設置型の浄化槽設置整備事業を行っています。合併処理浄化槽を設置する世帯に対して借入分の利子補給を行い普及促進しています。浄化槽未普及人口が多く高齢化が進んでいることから普及促進が課題となっています。

浄化槽処理人口普及率：R6 29.7%

R17 32.4%

R27 32.4%

(4) 住民との協働

下水道PRイベントや広報紙等で下水道への接続や合併浄化槽の設置を呼びかけ、水洗化率向上を図っています。